

土湯「下の松屋」と温海こけし

平成29年4月1日(土) ～ 6月30日(金)

土湯「下の松屋」のこけしと、下の松屋出身の阿部常松が考案した山形県の温海こけしをご紹介します。



公益財団法人 東邦銀行教育・文化財団附属 原郷のこけし群 西田記念館
〒960-2156 福島市荒井字横塚3-183(アンナガーデン内) TEL: 024-593-0639

【ご利用案内】

- 開館時間 9:00～17:00 (ご入館は16:30まで)
- 入館料 一般 300円 (団体20名以上250円) 中学生以下無料
- 休館日 年末年始 (12月27日～1月3日)

土湯の「下の松屋」は古くからこけし作りの伝統がある土湯こけしの名門で、土湯の郷土色を表すこけしとして多くの愛好家の注目を集めてきました。現在は、その伝統を受け継ぐ工人がコンクールで数々の賞を受賞し、新しい伝統も試みるなど土湯系の中でも注目の系列となっています。

また、山形県の温海温泉で作られるこけしもその創始者が土湯の下の松屋の出身でした。土湯系とは異なる特徴から「温海こけし」として親しまれており、独特の愛嬌ある表情は近年のこけしブームで高い人気を誇っています。こけし以外にも様々な木地玩具があり、アイデア溢れるユニークな作品が見られます。



土湯「下の松屋」のこけし



温海のこけしと木地玩具

【交通のご案内】

バス（福島交通）

- ・土湯温泉行
福島駅東口より約30分
自治研修センター前 下車、800m

車

- ・福島西I.C.より10分
- ・福島飯坂I.C.より40分

